



一般社団法人 神奈川県作業療法士会

神奈川県作業療法士会 ニュース

2017年3月 No.184

Contents

| | | | |
|--|---|-----------------------------------|---|
| 臨時社員総会開催のご報告..... | 1 | 求人案内..... | 6 |
| ～第16回神奈川県作業療法学会への道のり vol.6～ | 2 | 研修会案内..... | 6 |
| 連載 生活行為向上マネジメント..... | 3 | 財務部からのお願い..... | 7 |
| “Around the World” | 3 | 事務局からのお願い..... | 7 |
| TOPIC 連載コラム ちょっと一杯 どうですか? | 4 | 編集後記..... | 7 |
| 各部からの報告..... | 5 | TOPIC 作品コーナー Special | 8 |



臨時社員総会開催のご報告

冬の気配が感じられる11月2日に、横浜開港記念会館にて、臨時社員総会を開催いたしました。

夜間の開催ではありましたが、代議員総数59名の内、53名(委任状含む)の代議員の方々が、通常勤務を終えた後、参加して頂き、誠にありがたく存じます。

錠内会長の挨拶を持って会を開催いたしました。冒頭に、名誉会員兼特別顧問である長谷川元先生がご逝去された旨も報告がされ、黙とうをささげた後に、総会が開始されました。

平山議事運営委員長より、総会開催の定足数をみだし、総会が成立していることを宣言され、以下の2つの議案を提案されました。

第1号議案 定款・規約の改訂について

第2号議案 特設委員会の新設および組織規程の改定について

1つめの「定款および規約の改訂」については、錠内会長および名古屋理事より議案の説明をいたしました。

平成28年度通常社員総会時に、代議員よりご指摘されていた「役員選挙に関する選挙権」を中心に改訂を提案いたしました。代議員制度に変更した際、一部改訂を行っておらず、定款および規約間の整合性が整いきれておらず、解釈が難解な為、ご迷惑をおかけしておりましたが、選挙権は代議員にある旨に修正いたしました。

2つめの「特設委員会の新設および組織規程の改定」について、「地域包括ケアシステム推進委員会を新設いたしました。それに伴い組織規程が一部追加・変更の提案を錠内会長よりいたしました。

この特設委員会は、高齢社会を迎え、誰しものが住み慣れた地域で生き生きと生活ができるように各自自治体の現状に応じて地域作りを進める関係機関・団体の動きもあり、当会も連携をとって行動する為、検討および実施さ

れ始めました。

作業療法士の知識、技術が地域住民の健康に寄与できることを証明し、かつ実践していくために設置し、一般介護予防事業のひとつである地域リハビリテーション活動支援事業を中心に作業療法士による地域支援を実践していく所存です。

日本作業療法士協会においても、2013年から2017年までを、「第二次作業療法5カ年戦略」として、「地域生活移行・地域生活継続支援の推進～作業療法5・5計画～」を進めており、地域での作業療法士の活躍が非常に期待されておりますが、まだまだ地域で活躍する作業療法士は不足しております。

職能団体として、県民の方々や会員の皆様の求めに応じられるように、今後も県士会活動を展開していくとともに、会員皆様のご協力が非常に重要となっております。

以上2つの議案は参加して頂いた代議員の皆様のご全会一致で可決して頂きました。

今後も社会制度などの大きな変革も予想される中で、確実に作業療法士の活躍を求められております。

来年度には、役員改選が予定されておりますが、是非今後の県士会としての活動に注目して頂きたいと思っております。また是非、社員総会等を通じ、当士会へご意見を頂ければ幸いです。代議員でなくとも、是非お待ちしております。

尚、改正された定款は、ウェブサイトに掲載いたしますので、ご確認して頂けますと幸いです。

〈議案審議結果〉

第1号議案 反対0名、保留0名、賛成53名

第2号議案 反対0名、保留0名、賛成53名

よって、全議案が承認された。

～ 第16回神奈川県作業療法学会への道のり vol.6 ～

高齢・地域領域の教育講演について

高齢・地域領域シンポジウム担当 介護老人保健施設 しんわ走水荘 中村 一裕

高齢者の約4人に1人が認知症の人又はその予備群とされています。高齢化の進展に伴い認知症の人はさらに増加し、2025年には認知症の人は約700万人(2012年462万人)、65歳以上の高齢者の5人に1人(2012年7人に1人)となると推計されました。政府は、認知症の人を単に支えられる側と考えるのではなく、認知症の人が認知症とともによりよく生きていくことができるような環境整備が必要と考え、厚生労働省が2013年度から進める「認知症施策推進5カ年計画(オレンジプラン)」に代わる「新オレンジプラン」を2015年、省庁横断で取り組む総合戦略を決めました。

新オレンジプランは「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す。」が基本的な考え方です。当事者や家族に優しい地域づくりを柱とし、認知症の予防や診断、治療の体制整備などが盛り込まれ、現在戦略に基づく施策が進められています。

その中で作業療法士は専門職として具体的に何を行えるのでしょうか？

今回の学会テーマは「選択する未来」です。高齢・地域領域では「認知症高齢者が地域で暮らす選択の未来」をテーマに石井利幸先生を講師としてお招きし、教育講演をしていただく運びとなりました。

石井利幸先生は、医療法人社団慈泉会 介護老人保健施設 ひもろぎの園 にて認知症専門棟を担当し認知症作業療法を実践する傍ら、福島県の認知症介護 指導者として認知症介護実践研修(実践者研修、実践リーダー研修)の企画や講師のほか、認知症関連の多くの研修で講師を務めています。また日本作業療法士協会 生活行為向上マネジメント推進プロジェクト委員、白河市認知症初期集中支援チーム員としてもご活躍されています。

教育講演では、認知症施策の潮流について理解を深め、そして「認知症高齢者が地域で暮らす選択の未来」に対し、作業療法士には何ができるのかを考えるにあたって、第一線でご活躍されている石井先生からの熱いメッセージにより、たくさんの具体的な実践のヒントを頂けると考えています。皆様のご参加をお待ちしております。

事前参加登録がおすすめです

学会事務局 事務局長 白濱 勲二

第16回神奈川県作業療法学会まで、あと3か月となりました。学会事務局・広報では、予算案立案および会計、学会準備会議の運営、学会メーリングリストの作成、各種関連団体への協賛依頼、および、広報活動、抄録集・プログラム集の広告募集、学会チラシ・公開講座のポスター作製などを行ってきました。特に、神奈川県士会ウェブサイト委員の支援を受けて、学会ホームページの作成・運営、Facebookでの広報、学会メーリングリストの活用を早期から実施しました。また、学会ホームページは、東京都士会とも相互リンクをして、広報に努めました。さらに、今回の学会は皆さんの研究・臨床成果をできるだけ多く発表していただくために、一般演題はすべて、ディスカッションを重視したポスター発表形式にしました(おかげさまで、過去最高の演題数となりました)。公開講座・教育講演・シンポジウムも楽しみですが、ぜひ、興味のある演題をみつけて、ディスカッションしましょう。単日・日曜日開催なので、お気軽にご参加ください。

もちろん、当日受付も可能ですが、**事前参加登録がお勧めです**。事前参加登録を行うと**当日受付より1000円も参加費が安くなります**。学会ホームページから事前参加登録を行い、指定の口座に参加費を振り込んでください。本学会では、**無料の託児所(定員5名)**を開設します。定員になり次第、締め切りとなりますので、託児も学会ホームページからお早めにお申し込みください。

事前参加登録・参加費振込、託児予約：4月10日～5月31日(お忘れなく！)

振り込み先

【郵便局から振込】

郵便局 普通 口座番号：17985801、口座名：第16回神 OT 学会事前登録局

【他行から振込】

郵便局 店名：〇九八(ゼロキュウハチ)、店番：098、預金種目：普通預金、口座番号：1798580、口座名：第16回神 OT 学会事前登録局



生活行為向上マネジメント

生活行為向上マネジメント推進委員会の活動と来年度活動案

平成 27 年（2015 年）度の一般社団法人神奈川県作業療法士会社員総会において、生活行為向上マネジメント推進委員会（以下 MTDL P 委員会）が特設委員会（時限つきの委員会）として承認されました。

これまでも生活行為向上マネジメントについては別の部署にて普及・啓発のための活動を実施してまいりましたが、日本作業療法士協会や都道府県士会の動向および生活行為向上マネジメントが社会に及ぼす影響を鑑みて、特設委員会として活動すべきとの判断をいただきました。

当委員会を設置してからの 2 年間で、予算が許す限りの研修会を開催してまいりましたが、残念ながら神奈

川県での普及率（おおよそ 20～30%）は全国的な普及率と比較してもそれほど高くはない現状です。

受講時間の長い研修会ではありますが、作業療法士の生き残りを賭けた一大プロジェクトでありますので、是非とも会員諸氏におかれましては当委員会が開催する研修会への参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

まだ計画段階ではありますが、来年度は研修会を上半期、下半期で 1 回ずつ、計 2 回実施予定です。

平成 28 年度 研修会（基礎研修相当）の参加者数
..... **117 名**

（文責：生活行為向上マネジメント推進委員会 木村）



「回復期」は日本にしかない？

作業療法士（OTR）の働く領域としてメジャーな「回復期」。けれども、実は「回復期」は日本にしか存在しないということをご存知でしょうか。

米国では、「急性期」の次はすぐに「生活期」となります。平均在院日数は約 6 日と短く、OT として関われる期間も極端に短くなります。これは、保険制度による作業療法（OT）の日数制限、いち早く自立を望む文化的価値観、車椅子でも帰宅できる住環境などの背景があります。だからこそ、より短期間で効果をあげるため、OT における科学的根拠に基づいた臨床（EBOT）が発展しているのです。

また、カナダでは、国民皆保険で医療費の自己負担はなく、保険制度による OT の日数制限が厳しくありません。そのため、OTR とクライアントとの間でゴールを決めて取り組む必要があり、クライアントがそのゴールを達成し満足できた時点で OT が終了します。だからこそ、クライアントのニーズ

に対する遂行度と満足度を効果尺度とする、カナダ作業遂行モデルが誕生したのです。

このように、世界中の OTR は、それぞれの国の社会・文化的背景の影響を受けながら、日々発展を遂げてきました。その中でも万国共通といえるのが、常に「クライアントのために最良の OT を」と努力する姿勢ではないでしょうか。日本を含む世界中の OTR が互いに学びあうことで、OT の可能性は今後さらに無限に広がっていくのではないかと、ワクワクせずにはいられません。

おまけ情報

2014 年に横浜で開催された世界作業療法士連盟大会（WFOT）が、次回は南アフリカのケープタウンで、2018 年 5 月 21～25 日に開催されます。抄録メッチは、2017 年 5 月 4 日。世界中の OT と情報交換できる絶好のチャンスです！詳細は、www.wfotcongress.org をご覧ください。

（文責：夢は富士山登頂！御来光を拝んでみたい K・T）



連載コラム

ちょっと一杯 どうですか？

No.
1

『先生』と呼ばれて

『おじちゃん』って近所の子供たちに呼ばれている私も、自宅近くの病院に勤務する作業療法士。病院では、誰からも『〇〇先生』と呼ばれ、親しい方々とは『〇〇さん』などと呼び名が変わる。患者さんからは、相手が年上でも関係なく『先生』と呼ばれる。学生さんからは、『先生、これで良いですか？』と聞かれ、看護師さんからは、『先生、この患者さんの病棟 ADL の安静度を決めて下さい』と言われ、医者からは、『リハビリの先生』と呼ばれる。それぞれの立場から発信されるこの『先生』の意図する背景がそれぞれであり、面白い。

『先生』ってリハビリ職種が呼ばれるのには、以前は、若干抵抗があった。『先生じゃなく、さんで良いですから』と昔よく修正していたのも、異なる職種がいる病院で、皆がそう表現するから次第に億劫となって、そのまま『先生』と呼ばれると、ついつい“は～い”と答えてきた。

『先生』っていう呼び方は、私は特殊だと思っていた。『先生』とは、学校の先生か、お医者さんの二職種。その他は教官とか指導者とかだった。いつしか、指導者的立場の人は大体が『先生』と呼ばれるようになっていく気がする。例えば、『こちらは、日本鶴亀協会関東支部のカメ部門に所属されており、ゾウガメ飼育担当インストラクターで有名な亀田鶴子“先生”です。では“先生”一言お願いいたします。』と紹介される。我々作業療法士も、最後に『〇〇先生』と締めくくるのである。果たして私も『先生』と呼ばれてから、ちゃんと指導的な立場にいるのかしら、となんとなく斜め上を見てしまう。

病院という現場では、年功序列で年を取れば『先生』と呼ばれるような責任ある職位にもなっていく。たまに新人さんでもいきなり『先生』と呼ばれている様子は、時に滑稽に映る。新人の OT さんが、元気のいい病棟看護師さんに“私、この患者さんの受持ちをしている看護師ですが、この患者さんって、失語症が重度じゃないですかあ。で、中々理解が悪くて、絵で説明しても、ジェスチャーで説明しても分ってもらえないんですよね。色々リハビリの本や参考資料等で書かれているものをかき集めて自分なりに勉強しているんですが、中々上手く行かないんです。先生、どうしたらいいですか？教えて下さい！”と、

はっきり・きっぱり聞かれて、「えっ…」と言葉を詰まらせている新人さんの姿を横目で見て、仕方なく救いの手を伸ばす中堅 OT が救済に入る。このような経験は私にもあった。なんだか『先生』と呼ばれるとカッコつけたくなくて、新人時代にも関わらず、ついつい偉ぶって“これは・・・実は〇×で、△□を伴い、要するに凸凹だね”と専門用語を並べて誤魔化したりしたこともあった。新人さん達の滑稽な奮闘振りは、実は昔の自分に想えて、なんだか楽しい。

『先生』とは、指導者全般を呼称する総称ではなく、自分と比してエライと思う立場や技術者に向けた、何等かのメッセージを乗せた呼び名なのかもしれない、と思う。随分昔のことだが、とある学校で私が現役 OT ながら生徒として授業に出席している際、先生が一人ひとりに意見を聞く授業で、生徒の私に順番が来たら、“〇〇先生は何かありますか？”とクラスの中で暫く言っていたのは滑稽だった。先生と呼んだ実の先生に対して、私は「先生は、このクラスの先生で、私は皆と同じ生徒なんですから、先生と呼ばなくてもいいですよ。“さん”で呼んで下さい」と言うと、「〇〇先生にそう言われたら仕方がないですね」「ほら、また言っているよ。せんせつ。」と、小さな笑い取ったこともあった。

そういえば、先日、3冊の本を友人から借りた。その一冊が、重松清の「せんせい。」というタイトルの短編小説だ。中々感慨深い本で、文章のタッチも叙述的で作業療法士が読むには深みがある本だ。

今回から登場する“おじちゃん”。OT を一生涯の仕事と決意し、長い OT の歴史と共に奮闘している“おじちゃん”です。あくまでもおじちゃん視点での作業療法学を織り交ぜた連載コラムです。作業療法はとて奥が深いので、“おじちゃん”自身も、もっともっと作業療法について学んでみたいと思っています。作業療法って何かを真剣に考えたり、悩んだり、面白くさせたり、作業療法って、実は楽しいことが多い職種だと思います。“おじちゃん”は作業療法が大好きです。色々な風に吹かれても、波に打ち消されても、いつもそこには作業療法がありました。面白エピソード満載です。次回もお楽しみに。

(文責：ペンネーム おじちゃん)

各部からの報告

制度対策部・福祉用具対策班

29年度も会員の皆様に「明日から使える環境調整スキル」と題し、全5回のシリーズで研修会を開催します。ご参加お待ちしております。※定員：OT各10名 ※受講費：県士会会員2000円 ※県士会ウェブサイトより募集

| タイトル | 日程 | 内容(予定) |
|--------------|-------------------------|--|
| 「住環境編」 | 6月4日(日) 9:30～16:30 | ・リハセンターとの連携 ・トイレと浴室の調整 ・建築士による住宅改修について |
| 「シーティング編」 | 8月5日(土) 10:00～16:00 | ・座クッションの選定 ・車いすシーティング |
| 「移動編」 | 9月2日(日) 9:30～16:30 | ・車椅子の移動 ・屋外アプローチ |
| 「起居・移乗編」 | 11月5日(日) 9:30～16:40 | ・ポジショニング ・ベッドマットレスの選定 ・移乗関連用具の選定 |
| 「重度障害の環境調整編」 | 12月2日(土) 10:00～16:00 | ・STによる摂食嚥下の支援 ・ICTを利用した環境調整 |

【参加者へのインタビュー】

昨年この研修に参加され、勤務されている病院で在リハサービスについての研修会を企画された、横浜なみさリハビリテーション病院の豊永先生です。「研修により、在リハの役割やスタッフの方を知る事ができ、連携がしやすくなった事で相談するスタッフが増え、私たち支援の幅が広がりました」とお話し頂きました。豊永先生、ありがとうございました。

教育部

県士会ウェブサイトから
質問ができます！

連載「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

年度末、間もなく新年度ですね。異動もあったりしてあれこれです。そのスタートの前に皆さんの生涯教育制度の進捗を改めて確認して、来年度の目標を立ててみませんか。また再開するのは勇気がいりますが、そういう人が増えています。

以下いくつか考えられることを書きますので、ぜひ生涯教育手帳をご確認ください。

1. そう言われても自分の現状がわからない。どうすればいい？！

→心配御無用。教育部までご連絡ください。次に行うことを一緒に検討しましょう。

2. 貼っていないシールがある。

→すぐに貼って月日や内容をご記入下さい。

3. 研修会の参加証明書や県士会役員や部員、事業の当日運営委員等の委嘱状がある。

→県士会事務局へポイント手続きする(参加証明書、委嘱状、手帳、OT協会会員証コピー、切手貼付・宛名明記の返信用封筒を県士会へ送付してください。

4. 基礎研修がまだ終わらない。

→まずは現職者共通、選択研修の修了、50ポイン

ト取得して手続きへ。

5. 基礎研修は修了しているが、この先が…。

→基礎研修修了期間内に認定作業療法士取得を目指しましょう。ちなみに申請には50ポイントは不要です。

→認定作業療法士の申請に至らなくても、5年以内に50ポイントたまったら基礎研修修了の更新をOT協会に申請して下さい。

6. 認定作業療法士にはなったが、更新期限が過ぎてしまい「もういいや！」とも思っているが、どうしたらいいか

→期間延長や再認定試験を受験する等いくつか方法があります。以下にお問い合わせください。

7. そんなこと言っても、全然わからないんだけど…。

→いつでも以下にお問い合わせください。また県士会ウェブサイトの生涯教育制度コーナーからも質問できます。

8. あと、新人OTたちに協会と県士会の紹介と入会を勧めてください。そして生涯教育制度を利用した自己研鑽を促してください。

〈問合せ先〉教育部 奥原孝幸
kyoiku@kana-ot.jp、神奈川県立保健福祉大学
046-828-2738 (直)

求人案内

作業療法士
募集

特定医療法人 箱根リハビリテーション病院 介護老人保健施設サンライズ箱根

回復期リハビリテーション病棟を拡充します。
箱根のとてもよい環境です。
あなたの経験を私たちとともにさらに発揮してみませんか？

施設概要：・病院（177床）脳血管リハ、運動器リハ
回復期リハビリテーション病棟（36床）今後
拡充予定
・病院併設老人保健施設
（入所100名 デイケア8名 訪問リハビリ）
募集人員：回復期リハビリ病棟 作業療法士2名
待遇：当院規定により優遇。経験年数加算。昇給年1回。
賞与年2回。
勤務時間：9:00～17:00（休憩1時間実働7時間）
休日：4週8休、有給休暇、年末年始、特別休暇等
その他：学会・研修会出張奨励
ワークライフバランス重視の職場環境で残業はほ
んどありません。ホームページもぜひご覧ください。
現スタッフは、PT9名、OT5名、ST2名

問い合わせ先

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 1285
TEL：0460-84-9111
URL：<https://www.kensei-hakone.com/>
担当者：リハビリテーション科科长 稲（いな）



研修会案内

2017年度第一回 LIFE RESET インソール作家講習会

主催：(株)ASIAN TREE. LIFE RESET 鍼灸
日時：2017年3月19日～5月22日
9時～13時
場所：1日断食生活改善塾 LIFE RESET
URL：<http://lifereset.jp/blog/2017/01/27/1081/>

第79回 AMPS 講習会 in 静岡

主催：日本 AMPS 研究会
日時：2017年4月29日（土）～5月3日（水）
5日間
場所：聖隷クリストファー大学
3号館2階 3201教室
URL：<http://amps.xxxxxxx.jp/course.html>

第26回 埼玉県作業療法学会

テーマ：社会とのつながりを再考する
主催：一般社団法人 埼玉県作業療法士会
日時：2017年6月25日（日）
場所：目白大学岩槻キャンパス
URL：<http://hp.ot-saitama.or.jp>

平成29年度現職者選択研修 〈精神障害領域の作業療法〉

主催：東京都作業療法士会教育部
日時：2017年5月21日（日）
9:15～16:30（若干延長する場合あり）
場所：専門学校社会医学技術学院
URL：<http://tokyo-ot.com/training/index.php#1>

セラピストの為のシーティング入門 〈基礎から応用〉

～坐り方ひとつで世界が変えられる！～
主催：昭和大学卒業後教育セミナー
日時：2017年5月27日（土）
場所：昭和大学保健医療学部（横浜キャンパス）
E-mail：otd@nr.showa-u.ac.jp まで問い合わせ
準備出来次第県士会ホームページにも掲載

財務部からのお願い



4月になったら後輩が入職してくるという職場も多いのではないのでしょうか。そこで県士会会員の先輩であるみなさまにお願いがあります。後輩の新規入会手続きについて、ちょこっとだけフォローしていただきたいのです。

入会手続きは2段階となっています。

まず、県士会サイトから、「入会申込書」をダウンロード→プリントアウト→必要事項を記載→郵送 or FAX。

すると事務局から後日「預金口座振替依頼書」（4枚複写）が郵送で送られてきます。

「預金口座振替依頼書」に必要事項を記載・銀行口座開設印を押印→1～3枚目の3枚を事務局宛に返送→4枚目は控えとして各自保管。

毎年、入会の意思表示はしてくださるのに、手続きが

完了せずに入会できないという方が少なくありません。本当に残念に思います。

「未入会あるある」はこんなケースです。

- ・「入会申込書」を送って安心してしまいその後の手続きを忘れている

- ・「預金口座振替依頼書」に銀行口座開設印とは異なる印鑑を押している

- ・銀行口座残高が8,500円に足りなくて引落しができないより良い県士会のために、1人でも多くの方の入会をお待ちしております。

お忙しい毎日とは思いますが、先輩としてちょこっとフォローをしていただければ大変ありがたく思います。

どうぞよろしくごお願い申し上げます。

(文責：財務部 佐藤良枝)

事

務

局

お
か
願
い
の

届出内容を 変更される方

住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『変更届』を①郵送又は②FAXにてご提出願います。(随時受付)

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ**公式ウェブサイト**のINDEXより、ダウンロード可能です。なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落しとなり、返金を致しかねます。

後
編
集
記
集

冬の寒さも一段落し春の訪れも花や服装などから感じる事が増えましたね。春は出会いと別れの季節でもあり、皆さんの周りはどうでしょうか？また新たな目標を立てるにも絶好のチャンスです。色々な事にチャレンジしていきましょう！

(大和)

一般社団法人 **神奈川県作業療法士会ニュース** 〈184号〉2017年3月発行(年6回発行)

発行責任者 錠内 広之

編集責任者 神保 武則

編集担当 出口 弦舞 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)

山岡 洸 (新戸塚病院) / 桜井 大和 (佐藤病院)

佐藤 愛 (新戸塚病院) / 安田 優子 (横浜旭中央総合病院)

丸岡 ちひろ (済生会横浜市東部病院) / 井部 賢吾 (北里大学東病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル301号 TEL/FAX: 045-663-5997

月火水木金 10:00～15:00 メールアドレス: jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト

Facebook

Twitter

<http://kana-ot.jp>

<https://www.facebook.com/kaotwebkan>

<https://twitter.com/kaotwebkan>





作品コーナー Special

今月の作品

作品名 愛犬とともに

製作者 長岡 明子様 (40歳代・両下腿切断)

作品について 愛犬をモデルにレザークラフトにチャレンジしてみました。レザークラフトは、学生以来で、できるかどうか自信はありませんでした。早く退院して愛犬たちに会いたいです。また趣味でもレザークラフトを始めたいと思いました。

●担当作業療法士所属：森下 史子 先生 (済生会横浜市東部病院)



2016年度 OT作品思い出ギャラリー

ほんとうに素晴らしい作品が集まりました！



5月号 どんぐりころころ布のパネルシアター
製作者：平沢 恵 様



7月号 希望の虹
製作者：坂本 綾子 様



9月号 コースター
製作者：大塚 隆子 様



11月号 クラフト工芸
製作者：永井 咲子 様



1月号 1月のカレンダー
製作者：平井 弥典 様

作品大募集！

今年度はたくさんの応募ありがとうございました。
来年度もよろしくお願い致します！

『県士会ニュース』では、県士会ニュースに OT と関わって作られた対象者様の作品を掲載させて頂きたいと思っております。紙面から伝わる温かみを生かして、どしどしご応募いただければ幸いです。

- 応募方法……①お名前 (ふりがな) ②年齢 ③プロフィール ④作品タイトル
⑤作品について作者から一言 ⑥作者の住所 ⑦ご連絡先 (Email、電話番号など)
⑧連絡代行様のお名前 ⑨連絡代行様のご連絡先
①～⑨を記載し、作品写真を添付して下記アドレスへメールしてください。

募集締め切り……随時募集しております。

お問い合わせ……Kouhou-sakuhin@kana-ot.jp